

(令和4年度入学者用)

## カリキュラムポリシー（経済学部における教育課程の編成及び実施に関する方針）（昼間コース）

香川大学経済学部は、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を育成するために、全学共通科目（32単位以上）と学部開設科目（92単位以上、内訳は、学部基礎科目（22単位以上）、学部専門科目（20単位以上）、コース専門科目（20単位以上）、自由科目（20単位以上）、プロゼミナール（2単位）、演習（4単位）、卒業論文（4単位））から構成される教育課程を編成・実施します。3年次に演習を履修するためには、所定の科目を30単位以上修得していることが条件となります。卒業要件単位数は124単位以上とします。

本学部の教育体制の主な特徴は、1）社会や学生のニーズに応えるべく「経済・政策」「会計・ファイナンス」「経営・イノベーション」「観光・地域振興」「グローバル社会経済」の5コースを設定し、学生が希望する進路に合わせて、2年次後期にコースを選択すること、2）理論と実践の融合を図るためにフィールドワークやプロジェクト活動を重視していること、3）1年次から4年次まで各年次でゼミを設置してきめ細かな指導を行うことにあります。

経済学部では、学部の教育目標に沿った4年間一貫教育を行っています。1年次ならびに2年次は、全学共通科目と学部共通科目を中心に学び、自分の興味や関心を探求し視野を広げるとともに、経済学や経営学の基本をしっかりと学びます。特に2年次後期からは、自分の将来の進路に合わせて、5コースから所属するコースをひとつ選択し、より専門的で実践的なコース科目を履修することで、専門性に磨きをかけていきます。3年次からはゼミに所属して、さらに専門的な学修を深めながら、課題探求能力や問題解決能力を育みます。4年次の卒業研究では、学生自らが新たな課題を見出し、これまでに学修した知識や養成してきた問題解決能力を駆使して、それぞれのテーマで卒業論文を執筆して、専門分野の能力や技能を身につけます。なお、カリキュラム・ポリシーに係る教育課程については、カリキュラムマップを用いて詳細に明示しています。

学修成果の評価は、基本的に講義科目では修得した知識の理解度で、「演習」「個別演習」では専門分野に対する習熟度と研究活動に対する取り組み姿勢で、「卒業論文」では研究内容や様式などについて教員毎に示された単位認定方針に沿った総合評価で実施し、厳格な成績評価（5段階評価、GPAの活用）で行います。令和4年10月1日以降は、シラバスに記載している方法によって、各授業科目の到達目標の達成度で評価します。